



2025年3月吉日

一般社団法人 いきもの共生事業推進協議会

当協議会の森本幸裕会長が、 「みどりの学術賞」を受賞いたしました

2025年3月7日、森本幸裕会長（京都大学名誉教授）が、令和7年（第19回）「みどりの学術賞」を受賞※1いたしましたので、お知らせいたします。

「みどりの学術賞」は、「みどり」についての国民の造詣を深めるために、国内において植物、森林、緑地、造園、自然保護等に係る研究、技術の開発その他の「みどり」に関する学術上の顕著な功績のあった個人に内閣総理大臣が授与するものです。

今回の受賞は「景観生態学的研究を基盤とした都市における自然再生」に関する森本会長の功績が評価されたものです。「みどりの学術賞」選考委員会※2によりますと、長年の都市の自然を再生し、人と生物の快適な環境の形成を目指した学術研究や、「雨庭」など都市型洪水と生物の生息環境の改善の実現、またさまざまな学会や国際会議での議長を務めるなど、造園技術の社会実装に多大な貢献されたことを主な受賞理由としています。

当協議会といたしましても、今回の森本会長のご受賞は非常に大きな喜びであると共に、今後もより一層森本会長にご指導いただき活動を推進していく所存です。
授賞式「みどりの式典」（於：東京都内）や受賞記念イベントなどの開催予定については、今後内閣府のホームページ※3にて発表予定です。

※1：内閣府ホームページ <https://www.cao.go.jp/midorisho/>

※2：内閣府ホームページ 令和7年（第19回）「みどりの学術賞」
受賞者の決定について <https://www.cao.go.jp/midorisho/houdo/houdo250307.html>

※3：内閣府ホームページ 受賞者紹介
<https://www.cao.go.jp/midorisho/houdo/pdf/morimoto19.pdf>

■一般社団法人いきもの共生事業推進協議会（ABINC）について

当協議会は、生物多様性条約第1015回締約国会議（COP1015）において採択された愛知目標昆明・モントリオール生物多様性枠組および生物多様性戦略計画で掲げられた、2050年までの長期目標「自然と共生する世界」の実現と、2020年までの短期目標「生物多様性の損失を止めるために効果的かつ緊急な行動を実施する」2030年までに自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させる「2030年ネイチャーポジティブ」の実現のために、自然環境と地域共同体への負荷をできるだけ外部化しようとしてきた企業活動のベクトルを反転させ、志をともにする団体及び個人と協働して、いきものと人が共生できるしくみを「創造」し、科学的・技術的に「検証」し、「事業化」を推進することを目的とする。またその目的として設立されました。

【団体概要】

■名称:一般社団法人いきもの共生事業推進協議会

[英文名:Association for Business Innovation in harmony with Nature and Community
=略称ABINC(エイビंक)]

■設立:2013年12月25日 ■連絡先:info@abinc.or.jp ■ホームページ:<http://www.abinc.or.jp/>

■理事: 森本 幸裕 (京都大学 名誉教授) <会長>
原口 真 (MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社
サステナビリティ推進部 TNFD専任SVP) <副会長>
足立 直樹 (一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ 理事・事務局長)
小松 裕幸 (清水建設株式会社 環境経営推進室 グリーンインフラ推進部
主席マネージャー)
高塚 敏 (株式会社地域環境計画 代表取締役)
長澤 基一 (株式会社日本設計 ランドスケープ・都市基盤設計部
ランドスケープ設計グループ長)
村山 顕人 (東京大学 大学院工学系研究科 准教授)
■監事: 梶谷 修 (一般社団法人 日本環境アセスメント協会 顧問)
渡邊 哲朗 (税理士法人渡辺総研)

<本発表に関するお問い合わせ先>

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)事務局 事務局長:安斉 健雄 担当:渡辺・三好

※事務局業務取扱い受託 MS&ADインターリスク総研株式会社

e-mail : abinc@catcorp.jp